

# 佐竹 ともゆき

さたけ知之  
市議会議員



## 皆さんの声を 真っすぐ届けてきました。

前回、市議会に送っていただいてもうすぐ4年。くらし・福祉第一でがんばってきました。

いま、福祉も医療もそして子育てもますます大変、おおくのみなさんから切実な願いが寄せられています。

国・自治体ぐるみで障害者の働く権利を侵害し、雇用機会を奪う「水増し」をやっていたことは驚きであり怒り心頭です。再発防止を強く求めていきます。

ひとりひとりの人生が輝く社会に力をつくします。みなさんのご支援をお寄せいただき、ふたたび市政に送りだしてください。

《主な活動地域》新鎌ヶ谷、初富本町、南初富、中央、富岡、道野辺本町、道野辺中央、丸山、右京塚、東道野辺、軽井沢、初富、佐津間、中佐津間、西佐津間、南佐津間、中沢、北中沢、北初富、粟野、くぬぎ山、東中沢、中沢新町、西道野辺、馬込沢、道野辺、

なんでも  
生活相談

どんなことでも  
お気軽に！

☎047-349-1544(松戸鎌ヶ谷地区委員会)



網走湖の風景

「なぜ共産党に入ったのかを思うとき、身を削って働いた母の姿が浮かびます。社会が、政治が、母のような女性をもっと助けであげてほしかった。そういう政治にしなければと思います。これが私の政治の原点です。」  
佐竹ともゆき

## 佐竹ともゆきの やさしさ と 頼りがい のルーツは

### 初質問で紹介した、 県住の無理心中事件

15年6月議会。市営住宅問題に関連し、前年に起きた銚子の県営住宅での無理心中事件に触れ、次のように述べました。

「母子世帯の入居者が家賃滞納を理由にした明渡し訴訟により、強制退去を求められたその日に母親が中学生の娘を殺害し、自分も死のうとして死に切れなかったという痛ましい事件が起きました。この母親は公判でも『ごめんね。ごめんね』と何度も謝っていたそうです。私はこの事件を知って、この親子に行政がもっと温かい手を差し伸べられなかったのか、悔やまれてしかたありませんでした」。



議場で訴える佐竹議員

### 行商に行く 母の背中みて育つ

私は終戦の年、6人兄弟の4番目として、オホーツク海に面し四季の自然に恵れた北海道網走で生まれました。父は小学2年の時に脳溢血で倒れ、中学1年の時に他界。父が病気で倒れて以後、一家の生活を支えたのは母で、私は、行商に出かける母親の背中を見て育ちました。

私は終戦の年、6人兄弟の4番目として

### 社会の矛盾学び 日本共産党に入党

高校を卒業して上京。機械工具販売の

会社で働きながら夜間は中央労働学院で学びました。多くの仲間や先輩と話し合う中で、社会の矛盾や政治の問題点などを学び、19歳で日本共産党に入党しました。

翌年、「共産党で働かないか」との誘いを受け、「世の中を変える先頭に」と意気に燃えて党専従者の道に踏み出し、以後、45年間がんばってきました。

### 生活相談が ライフワークに

党専従の時から、生活に困窮している人たちの相談相手が必要だと考えていました。「生活と健康を守る会(生健会)」は、低所得者の暮らしと権利、命を守るための全国的な団体です。鎌ヶ谷にも「生健会」があり、迷いなく飛びこみました。どんなことでもすぐに駆けつけ相談にのっています。私のライフワークになっていました。



市政報告を行う佐竹市議

### 生活保護の改善求める 質問は共産党だけ

住宅扶助や母子加算の減額に続き生活扶助も削減してきた生活保護。年金や最低賃金にも連動する改悪です。これではまともな生活はできません。しかし市議会では生活保護の改悪反対を求めているのは共産党だけです。



生活保護世帯へのエアコン設置を市に要望する宮城市議と佐竹市議

力あわせ、未来ひらく。

日本共産党

JCP

検索

## 「市民＋野党」で ブレない共産党

日本共産党は、安倍政権から、政治を国民の手に取り戻すために「市民と野党の共闘」で力をあわせています。

来年の参院選でも、すべての1人区で候補者を一本化し与野党逆転をめざします。

## どんな問題でも 改革の道をしめす党

### 《消費税10%は中止を》

- ・10%中止こそ最大の景気対策。
- ・「税金は負担能力に応じて」が原則。増税するなら、アベノミクスで潤った富裕層と大企業から。
- ・膨れ上がった軍事費の大幅削減とムダな大型開発にメスを。

- 北朝鮮問題は対話による平和的解決で。日本こそイニシアチブを。
- 過労死根絶。8時間働けば、普通にらせる社会に。
- 再稼働NO。原発ゼロの日本へ。
- 沖縄辺野古への新基地建設ストップ。
- 憲法9条をまもり、核兵器禁止条約にサインする政府を。



## 9条改憲ノー、安倍暴走ストップ!



参院・千葉  
浅野ふみ子



参院・比例  
しいばかずゆき

# 市民との共同の力で 市政を動かしています



日本共産党

市議会議員  
佐竹ともゆき

## 住民の利益第一で 市民の願いを実現!

### 中学卒業までの医療費助成

全県的な運動で、県補助を小学3年まで拡大(通院)し、鎌ケ谷市でも通院・入院含めて中学卒業までの医療費助成を実現できました。

印西市や香取市、いすみ市など14の市町村が高校卒業まで助成。こんどは鎌ケ谷市でも実現させましょう。



### 国保料の引き下げ 一貫要求

国民健康保険料の引き上げに反対し、一人1万円の引き下げを要求。市も一般会計からの繰入れ等で10年間値上げせず据え置いてきましたが2018年度に引き上げました。

引き続き引き下げを求めています。

- 学校のエアコン、トイレ洋式化の推進
- ききょう号の増便・土日運行の改善
- 保育園待機児、「ゼロ」実現
- 就学援助の支度金(学用品・制服等)の事前支給を。支給額の増額。
- 歩道のない通学路の速度規制や防犯カメラなどの対策。

共産党議員は ●毎議会発言 ●議会報告を欠かさず発行

## 憲法を市政の隅々に

### 平和の街・鎌ケ谷へ

人口密集地の中の下総基地。昼夜に渡る騒音被害と危険な訓練は即刻中止を。木更津基地へのオスプレイ配備は撤回を。



### 子育て・教育の充実を

- ◆返済不要の給付制奨学金制度の創設を。
- ◆給食費を無料にし、子育て世帯の負担軽減を。
- ◆放課後児童クラブの支援員は、正規職員を必ず配置すること。

### 医療・介護・安心の鎌ケ谷に

- ◆国保料を、当面一世帯1万円の引き下げを。
- ◆特養ホームの増設。介護保険料・利用料軽減を。
- ◆地域包括支援センターを中学校単位に設置を。

### 交通対策・外出支援を

- ◆生活・通学路の整備・安全対策を。
- ◆地域経済の活性化、住宅リフォーム助成の創設。
- ◆ききょう号の路線増設など、交通弱者対策を。

財源は?

- ①自由に使える貯金・財政調整基金が26億円。
- ②28年度の「不用額(使い残し)」は、特別会計含めて27億円。

